



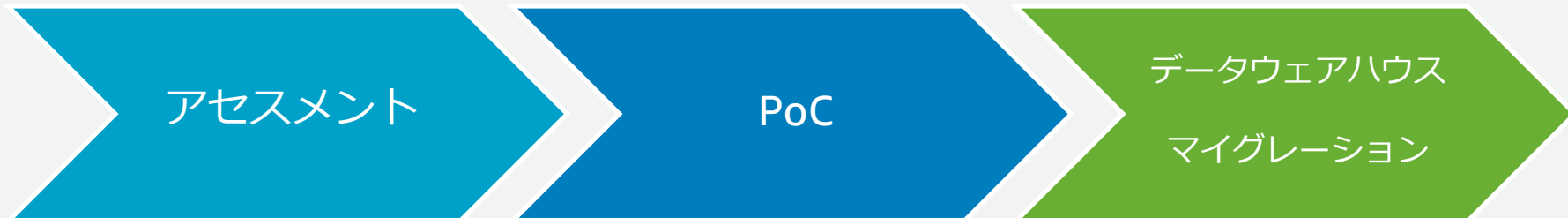
【オンラインセミナー】
Amazon Redshift 事例祭り（移行編）
～Let's Modernize Our Data Warehouses!

DWH Migration Program のご紹介

Amazon Web Services, Inc.
Junpei Ozono / Snr. Specialist SA, Analytics

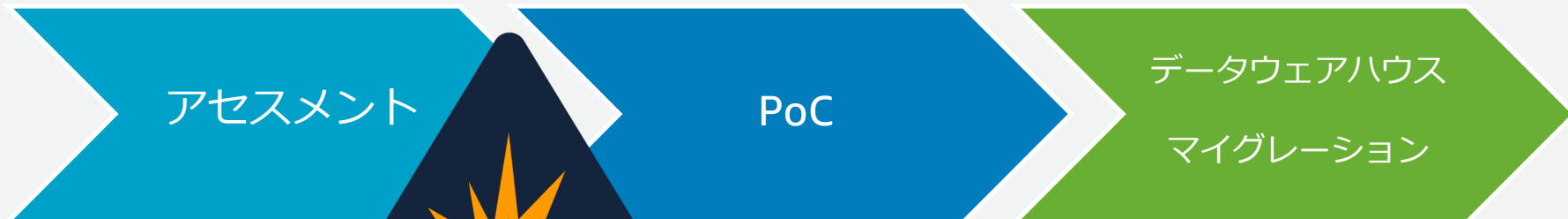


データウェアハウスマイグレーションの流れ



- データウェアハウス資産の棚卸し
- データウェアハウスのデータ容量、ワークロードや周辺システムとのインターフェース等の確認
- SQL、データベースオブジェクトの移行難易度のチェック
- パフォーマンス、運用、移行性、コスト、移行方式の実現性を確認するために PoC を実施
- PoC の結果から移行プロジェクトのスケジュール等を見直し、決定
- AWS パートナーおよび AWS のプロフェッショナルサービスを含め、プロジェクトの体制を決定
- データウェアハウス移行
- システムの統合
- テスト
- 最適化

データウェアハウスマイグレーションにおける課題

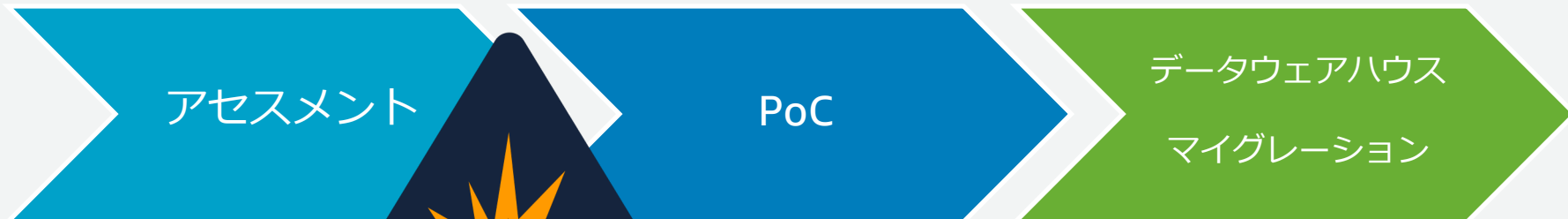


- データウェアハウス資産の性能、運用、移行性、
- データウェアハウスの移行方式の実現性を確認
- データウェアハウス移行
- システムの統合

アセスメントから PoC までの間に様々なギャップがあり適切な移行リスクの評価ができない場合、移行プロジェクトがうまく進まない可能性が高い

- データウェアハウス移行にあたり、どの点に気をつければよいか分からない
- どうサイジングしていいか分からない
- 移行プロジェクトの知見、経験がない
- 移行先データウェアハウスについて技術的に不安
- ...

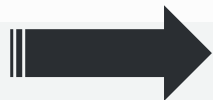
データウェアハウスマイグレーションにおける課題



- データウェアハウス資産の性能、運用、移行性、
- データウェアハウスの移行方式の実現性を確認
- データウェアハウス移行
- システムの統合

アセスメントから PoC までの間に様々なギャップがあり適切な移行リスクの評価ができない場合、移行プロジェクトがうまく進まない可能性が高い

- データウェアハウス移行にあたり、どの点に気をつければよいか分からない
- どうサイジングしていいか分からない
- 移行プロジェクトの知見、経験がない
- 移行先データウェアハウスについて技術的に不安
- ...



DWH Migration Program

DWH Migration Program とは

- 既存のオンプレミス上のデータウェアハウス (DWH) から AWS ネイティブの DWH サービス (Amazon Redshift) への移行のための AWS による DWH 移行支援プログラム
 - DWH に対して Specialty を持つ AWS の SA が無償でサポート
- 本プログラムをご活用いただくことで、DWH 移行の難易度や注意点を洗い出し、より精度の高い移行計画の作成を支援します

DWH Migration Program の内容

1. アセスメント

現行 DWH および周辺システム資産に関するアセスメントを実施し、現状を把握する

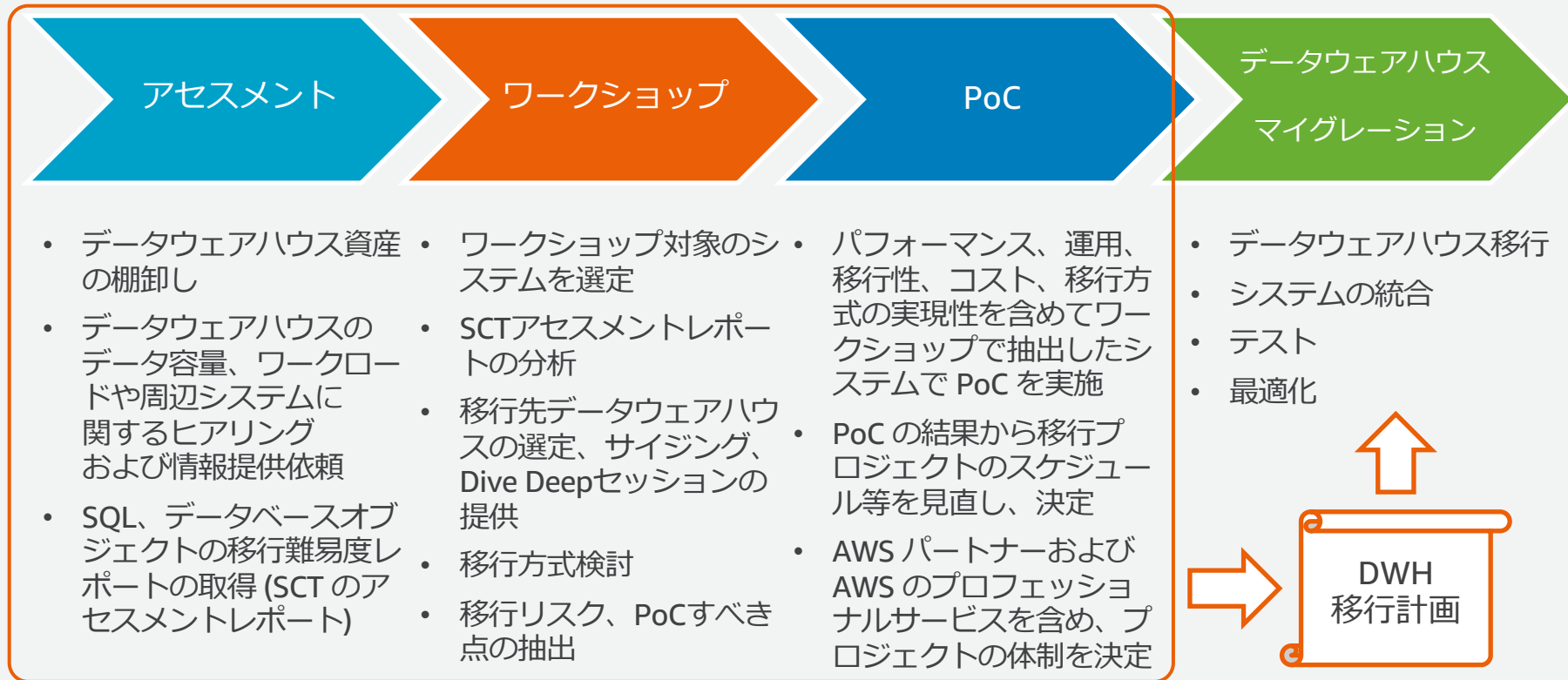
2. ワークショップ

アセスメント結果を元にワークショップを開催し、移行リスクや PoC 項目を洗い出す

3. PoC

ワークショップでのアウトプットをもとにお客様のPoC の計画 および実行を支援する

DWH Migration Program のプロセス



DWH Migration Program の範囲

各ステップでご参加いただきたいお客様



- 参加メンバー
(必須) DWH 担当エンジニア、周辺システム(ETL/BI等)担当エンジニア
- 実施期間
1-2 週間程度、ただし実稼働時間としては半日~1日程度の想定
- 実施内容
AWS 側でアセスメントを実施するにあたり、「アセスメント実施手順」を提供させていただきますので、そちらを参照のうえ、ヒアリング項目の記入や情報取得にご協力をお願いします

各ステップでご参加いただきたいお客様



- 参加メンバー
(必須) DWH 担当エンジニア、周辺システム(ETL/BI等)担当エンジニア
 - 実施期間
実稼働時間として最大 2 日程度 (日程の分割は要相談)
 - 実施内容
ワークショップへのご参加をお願いします
- データウェアハウスの移行
- パフォーマンス、運用、テスト、最適化
 - ワークショップで抽出したシ
 - プロジェクトのスケジュール
 - 移行方式検討
 - AWS のプロフェッショナルサービスを含め、プロジェクトの体制を決定

各ステップでご参加いただきたいお客様



- 参加メンバー
(必須) DWH 担当エンジニア
(オプション) 分析ユーザー、周辺システム(ETL/BI等)担当エンジニア
 - 実施期間
実稼働時間として 3 週間程度 (報告書作成等を含む)
 - 実施内容
PoC 計画に基づく検証作業
- データウェアハウス移行
パフォーマンス、運用、移行性、コスト、移行方法の表現性を含めて、システムで PoC を実施
データウェアハウス移行
システムの統合
最適化
PoC の結果から移行プラン等を見直し、決定
AWS パートナーおよび AWS のプロフェッショナルサービスを含め、プロジェクトの体制を決定

DWH Migration Program 提供コンテンツ

- アセスメント実施手順
 - ヒアリングシート、SCT 実施手順
- データウェアハウス移行ワークショップ
 - 最新の Amazon Redshift の概要と詳細
 - アセスメントのアウトプットに対する考察
 - DWH 移行のポイント、初期サイジング、移行方式
- PoC ガイド
 - ワークショップでディスカッションした内容
 - PoC の正しい進め方、注意すべきポイント

まとめ

- DWH Migration Program は AWS による無償の DWH 移行支援プログラム
- AWS SA が既存 DWH のアセスメントを実施したうえで、ワークショップを通じて移行の道筋を立て、PoC を技術的に支援します
- データウェアハウスマイグレーションに対して不安や懸念がある場合はぜひ DWH Migration Program をご活用ください！

